

藤浪駅前広場の再整備 市長の思いは

近藤 武議員

まちづくりの核となる場所に
市長



問 藤浪駅前広場の再整備、どのような考えで取り組んでいるのか。

答 基本理念として、通常時には憩い・にぎわいの拠点、災害時には防災拠点を目指す。

コンセプトを「市の玄関口としてにぎわいのある安心・安全に対応する空間づくり」として、「市民の安全を守る防災拠点」にぎわいの空間の創出「幅広い世代の交流の場」広場空間による憩い

の空間」の4つの基本方針を定めている。

問 清林館高校の生徒や地元関係者からの提案や意見を、整備方針にどのように反映したか。

答 当初の計画に比べ、ソーラーパネルを内蔵した街灯の追加、キッチンカーが進入しやすいような動線の追加、桜の木を新たに植樹するなどの変更を行った。



▲現在の藤浪駅前

問 駅前広場の再整備を通して、どのようなまちづくりにつなげていきたいか。

答 鉄道を利用する方だけでなく、地元の方や市民、市外から訪れる方に気軽に立ち寄ってもらえる場所にするこで、にぎわいが生まれ、まちの活性化、まちづくりの核となる場所にしていきたい。



▲改修後のイメージ図